



# ～第 67 回 卒業式～

2月28日、3年生が無事に東高を卒業しました。巣立っていく卒業生から後輩たちへのメッセージです。

高校のうちに自分の好きなこと、得意なこと、どんなことでもいいから自分について考えることが大切です。

東高に入学してから、一つのことを最後までやり遂げる大切さを学び、自信に繋がりました。頑張ったら頑張った分、自分に返ってきます。

勉強と部活の両立は大変ですが、東舞鶴高校は自分の目標をしっかり持っていけば、文武両道できる学校です。

高校三年間、色々なことに積極的に取り組み、たくさんの経験を積むのがいいと思います。東高は色々な経験ができるチャンスがたくさんあるのでどんどん参加しましょう。

自分の夢や目標をしっかり持ち、それに向けて早い段階から準備をしていくことが重要。

部活は、先輩や同級生と交流できるのはもちろんですが、新しい知識が増えるのもいいことの一つです。部活を楽しんでください。

## 国語表現「生活体験発表」

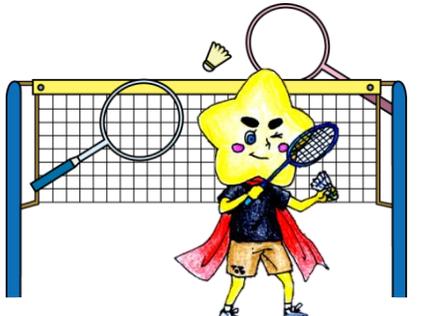
3年生「国語表現」の授業で、自分の3年間の高校生活を振り返り、文章にまとめてスピーチしました。どの文章にも一人一人の熱い思いがあふれていました。その中から部活動を通しての成長を綴った日笠 一毅君の作品を紹介します。



日笠 一毅君 (白糸中出身) 「3年間の部活動」



僕は小学生の時からずっとバドミントンをやってきました。小中学校の間にもいろいろ苦労してきましたけれど、京都の試合や岡山県までの遠征など強い人と試合をして、それなりに強くなったと思っていました。そのため高校での試合は楽勝だろうと思い、楽しみでした。そして、高校での初めての試合がやってきました。途中までは楽々と勝っていました。けれども、ある試合で高校からはじめたという3年生にフルセットで負けました。幸い府大会に出場することはできたけれど、啞然としました。僕は試合が終わった後に浮かっていたなと思いました。中学生の時に自分の弱点はメンタルだということを知って、その弱点をもう克服できたと思っていたことが、試合の敗因だと思いました。でも、この試合のおかげでまた一つ自分に不足している所を発見することができました。そして、それからの練習ではその日の中での課題を一つ、自分で明確にして取り組んでいきました。練習では学校の部活動だけではなく部活動以外で所属しているチームの練習や休日の空いている時間など、少しの時間も無駄にせず、バドミントンに打ち込んできました。そして、2年生になり、両丹の試合ではシングルス・ダブルス共にベスト4までは確実に勝ち進むことができるようになりました。そして3年生が引退してすぐの近畿大会の両丹予選で、ついにシングルス・ダブルスどちらも優勝することができました。優勝した時は本当に嬉しかったです。その好調を維持したまま府大会にのぞみました。そして、ベスト8まで問題なく勝ち進み、近畿大会への出場が決定しました。近畿大会は初めてだったのでとてもうれしかったです。近畿大会では2回戦で負けてしまったけれど、近畿という舞台上で試合ができてとてもいい経験になりました。3年生になって、いよいよ最後のインターハイ予選がやってきました。僕は入学した時からインターハイ出場をめざしてがんばってきました。でも、残念ながら府下大会ではベスト32に終わってしまいました。僕は試合には負けてしまったけれど、自分の力をしっかりと出し切れたので、良かったと思いました。僕は、3年間部活動を続けてきてとても良かったと思います。それに、1年生の時の負けがなければ、ここまで結果を残すことができなかったと思います。僕は3年間の部活動でいろいろなことを学びました。自分の弱い部分を知ることの重要性、そしてそこから次にどうやって成長するかなどです。他には目標を持つということも学びました。ただ、考えもなしに練習をするのではなく、課題をもって取り組むことで、小さなことでも意義のあることにつながるということも学びました。部活動で学んだことは普段の学校生活でもしっかりと生かしてこられたのではないかと思います。そして、卒業後も大学へバドミントンの推薦での入学が決定しているので、高校での部活動で学んだことを生かして、もっと成長していけたらいいと思っています。そして、大学でもいい結果を残せるようにがんばっていきたいです。



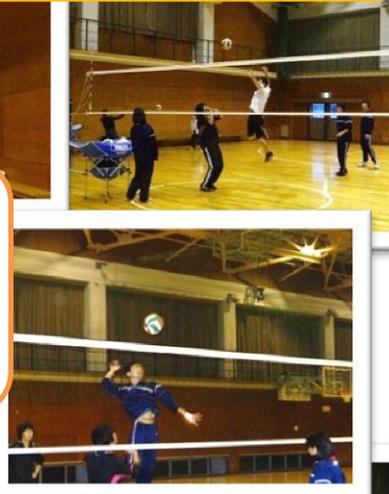
# バレー、バスケ、府大会へ進出!

## バレーボール部 (男子)



新人大会両丹予選会において  
ベストサポーター校に選ばれました。

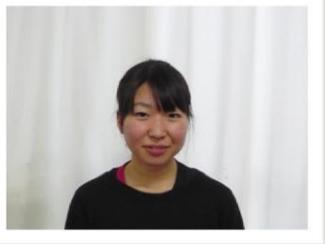
新人大会両丹予選  
会でベスト6に選  
ばれた山口 弘貴君  
(左/白糸中出身)  
と森下 竜次君(右)



バレーボール部  
男子キャプテン  
森下 竜次君  
(白糸中出身)

2年生が積極的に声を出し、チームを盛り上げています。プレーの一つ一つを丁寧にし、得点に結びつけられるチームを目指しています。今後の目標は両丹で1位、京都府でベスト8に入ることです。初心者からでも大丈夫。ぜひ東高で一緒にプレーしましょう。

## バレーボール部 (女子)

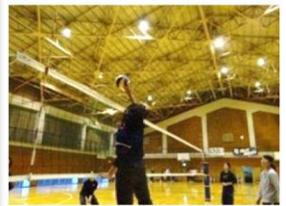


バレーボール部  
女子キャプテン  
野里常 友樹己  
さん(青葉中出身)

楽しく明るい雰囲気大切に練習しています。毎日の厳しい練習を乗り越え、チームで力を合わせて府大会出場という目標を達成することができました。次の大会では弱点を克服して一つでも勝ち上がれるようにさらに練習を頑張っていきます。



新人大会両丹予選  
会でベスト6  
に選ばれた井上  
美里さん(白糸  
中出身)



## バスケットボール部 (男子)



白波瀬 正也君(前列中央)と榎 広汰君(後列右から2人目/白糸中出身)は平成26年度両丹選抜選手に選出されました☆



バスケット部男子キャプテン  
白波瀬 正也君(城南中出身)

毎日楽しく、元気に練習しています。人数が少ない中で府大会まで勝ち上がることができ、僕たちにとってとても良い経験になりました。これからも練習を重ね、一回でも多く勝てるチームになりたいです。



## 今月のきらり★さん



松吉 優海さん  
(若浦中出身)

美術部の松吉 優海さんの作品が、来年度舞鶴で行われる全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会のポスターに採用されました。

「この作品を制作するに当たって、実際のレスリングの試合を見に行ってきました。また筋肉の様子がリアルに出るように、筋肉の写真が載っている本を見ながら描いていきました。目立つように原色を使用したところがポイントです。このポスターを見て、来年度の大会に興味をもっていただけたら嬉しいです。」

